

## ジフテリア・破傷風（二種）混合ワクチン 対象年齢：11歳以上 13歳未満の者 （標準：11歳～12歳に達するまでの期間）

二種混合ワクチンは、乳幼児期に接種した四種混合ワクチンの第2期接種となります。

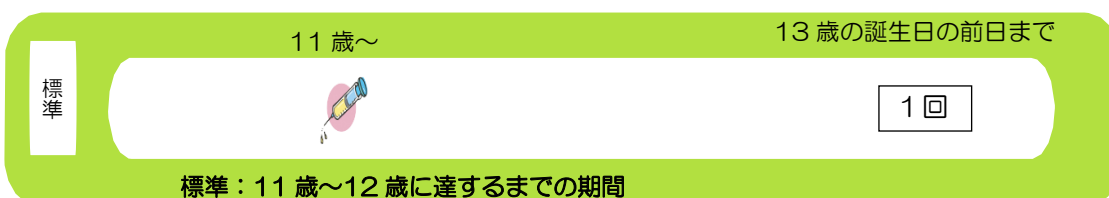
第2期は第1期（乳幼児期）で得られた免疫が低下してきますので、標準として11～12歳に追加接種を1回して免疫を高めます。

### 病気の説明

- ジフテリア…ジフテリア菌の飛沫感染によって発症する病気です。高熱や喉の痛み、咳などが起こり「偽膜」とよばれる膜ができて窒息することもあります。発病から2～3週間後には菌の出す毒素によって心筋障害や神経麻痺を起こすことがあります。
- 破傷風…土の中にいる破傷風菌が傷口から侵入し感染、発症する病気です。さまざまな神経症状（けいれんや手足の硬直、呼吸マヒなど）があらわれ、発病の約2割が命を落とすといわれています。破傷風は自然感染によって免疫を獲得することはなく、予防接種を受けた人のみが免疫を獲得します。

### 接種時期と回数

11歳以上 13歳の誕生日前日までに1回接種します。  
標準接種期間は11歳から12歳に達するまでのあいだです。



※四種混合（ジフテリア百日せき破傷風ポリオ）混合ワクチンの基礎免疫が不十分な場合はご相談ください。

### 副反応と注意点

二種混合予防接種は、ごく少量のワクチンを接種しているのでほとんど副反応を起こすことはありませんが、注射した部分の腫れや発赤、発熱などがあります。通常すぐに回復しますが、高熱など変わったことがある場合は直ちに医師の診察を受けてください。

- ① 接種した場所が赤くはれる  
⇒2～3日で消えるので心配いりませんが、はれがひどいときやかゆみ・痛みがあるときは、冷やして様子を見ましょう。
- ② しこりができる  
⇒1か月ぐらい続くことがありますが、心配いりません。

※法で定められた期間内に接種されない場合は、自己負担となりますのでご注意ください。